

# 第44回研究大会 研究発表の募集について

〈メインテーマ〉 多様性に挑む公認会計士 ～期待と信頼を胸に

〈開催日〉 2023年9月8日(金)

〈会場〉 ロイトン札幌(札幌市中央区北1条西11丁目)

第44回研究大会は、北海道会の主催により、札幌にて開催させていただきます。

第41回研究大会2020の開催地に決定し、開催に向けて準備を進めていたところに、新型コロナウイルスの感染が拡大し、人々の移動が大きく制限される事態となったことから、やむを得ず札幌大会としては中止し、東京からのオンライン開催となりました。

北海道会としては再チャレンジとなります。

地球温暖化が原因といわれる気候変動が世界的に問題となる中、国連が「持続可能な開発目標(SDGs)」を掲げるなど、地球環境を保持しながら人類が平等に発展していく方法が問われる時代となりました。その一環として、各国で二酸化炭素排出量などの非財務情報の開示義務化が拡がりを見せ、合わせて当該非財務情報の信頼性を確保するために公認会計士の監査の知見を活用しようという動きが出てきております。

会計監査の独占資格として位置付けられている公認会計士ですが、その業務分野は年々拡大し、会計監査以外の分野で活躍する公認会計士が非常に多くなってきています。また、会計監査の分野においても AI の活用や新型コロナウイルスの流行に対応したリモート機器の活用など、その手法も大きく変化してきております。

このように、我々公認会計士は「多様性」への対応が求められる環境に置かれております。その基礎にあるのは、社会からの我々に対する「期待と信頼」に他なりません。我々はそのことを胸に刻みながら、常に多様性に挑戦し続ける姿勢が必要ではないでしょうか。

今研究大会では、社会の期待と信頼に応えるために多様性に挑んでいく方法について皆様と共に学ぶ機会にしたいと考えております。

# 研究発表募集要領

## 1. 応募資格

会員・準会員及び一般有志

## 2. 募集テーマ

原則として、メインテーマ「多様性に挑む公認会計士 ～期待と信頼を胸に」に関連するテーマとします。

## 3. 募集内容

### (1) テーマ及び発表者（パネリスト）の募集

#### ① 研究論文による発表

日頃の研究内容を論文にまとめて、研究大会当日、発表していただきます。ご応募いただく際は、MS Wordソフトウェアを利用して次のとおり論文を作成し、選考結果の送付先となる住所を明記の上、電子データをメールに添付してお送りください。

・ A 4判10頁以内（目次、図表等全てを含みます）

※採用となった方には、当日掲示・配付用のスライド資料（MS PowerPointソフトウェア利用）を後日ご提出いただきます。

・ 1頁の設定 40字38行（フォントサイズは本文11ポイント）

※なお、研究論文については会員からの推薦も選考の対象とします。応募の際は、推薦する研究論文（テーマ）及び発表方法に発表者の住所・氏名・職業・電話番号、発表者の同意を得ている旨を明記の上、お送りください。

#### ② パネルディスカッション形式による発表

研究内容をスライド資料としてご用意いただき、研究大会当日、その内容についてパネリスト間でディスカッションを行っていただきます。ご応募いただく際は、MS Wordソフトウェアを利用して次のとおりパネルディスカッションの企画書（テーマ・発表の趣旨、目的・内容の概要・パネルディスカッション形式とした理由・パネリストの略歴を記載）を作成し、選考結果の送付先となる住所を明記の上、電子データをメールに添付してお送りください。

・ A 4判 5 頁程度

※採用となった方には、当日掲示・配付用のスライド資料（MS PowerPointソフトウェア利用）を後日ご提出いただきます。

・ 人数はパネリスト及びコーディネーター含め5名以内（厳守）

### (2) テーマの募集 ～フリーディスカッション形式による発表

公認会計士制度、業務に関係し、日頃関心を持っている内容で大会参加者と意見交換してみたいと考えるテーマについてのご提案を募集します。ご応募いただく際は、テーマ（例えば「公認会計士制度のあり方」など）及びテーマ選定の趣旨、目的を作成いただき、発表者として希望する者のリストを添えてお送りください。

継続的専門研修制度協議会において、テーマに合ったコーディネーター等発表者を選定します。

※ご応募いただく際は、発表テーマ及び発表方法を明記の上、住所・氏名・職業・電

話番号を記載の上、ご応募ください。

#### 4. 応募及び推薦締切日

2023年2月28日（火）（必着）

#### 5. 選考

継続的専門研修制度協議会において、研究発表のテーマとしてふさわしいか否かを基準として審査・決定します。

また、発表方法（研究論文、パネルディスカッション形式、フリーディスカッション形式）が偏らないように考慮し選考いたします。

ご送付された原稿等は返却いたしませんのでご留意ください。

#### 6. 発表予定テーマ数

今大会（第44回研究大会）では、10テーマの発表を予定しており、うち2テーマは、研究大会開催地域会である北海道会に割り当てる予定です。

また、学術賞受賞作品の中で研究発表テーマとしてふさわしいものがあれば、10テーマの中に含めることも検討します。

#### 7. 研究発表の決定

2023年4月末を目処に、応募された方に選考結果をご連絡します。

なお、選考経緯等は公表しませんので、あらかじめご了承の上ご応募ください。

#### 8. 送付先及び問合せ先

〒102-8264 東京都千代田区九段南4-4-1  
日本公認会計士協会 会務運営戦略本部研修グループ  
TEL：03-3515-1126（直通）  
E-Mail：kenkyutaiikai@sec.jicpa.or.jp

（企画運営）継続的専門研修制度協議会・北海道会研究大会実行委員会

## <参考>前回の研究発表テーマ一覧（第43回研究大会）

### 前回メインテーマ：公認会計士に期待される役割と業務～変化し続ける社会に向けて～

#### 【研究発表①】

テーマ1	【パネルディスカッション】 Game Changeの時代にこそ、公認会計士の強みを社外役員として活かす！～ Are we ready to change the world? ～
テーマ2	【パネルディスカッション】 税務行政のDX化推進への公認会計士の貢献の可能性～監査DXのノウハウを税務行政の効率化・高度化に如何に活用できるか～
テーマ3	【パネルディスカッション】 倫理規則の改正とこれからの公認会計士の職業倫理の在り方について
テーマ4	【パネルディスカッション】 経営分析で企業実態を把握し、VUCA時代の企業成長を促す
テーマ5	【論文発表】 人的資本の会計—認識・測定・開示—

#### 【研究発表②】

テーマ6	【パネルディスカッション】 アフターコロナ時代における社会福祉法人の諸課題と公認会計士の役割について
テーマ7	【パネルディスカッション】 学校法人のガバナンス強化に向けて公認会計士及び監査に期待される役割の考察
テーマ8	【パネルディスカッション】 サステナビリティ関連情報開示によるコーポレートガバナンス改革の課題—変化し続ける経済社会において公認会計士に期待される役割と業務—
テーマ9	【パネルディスカッション】 スポーツアカウンティングと公認会計士の貢献
テーマ10	【論文発表】 相続時における不動産の評価、財産評価基本通達と総則6項